

事業領域の拡大と コスト構造の改革を実現し、 収益改善に取り組みます。



2019年12月

代表取締役社長 阿部 茂雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第118期上半期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

■ 経営環境について

当社グループを取り巻く経営環境は、IT化やネットワーク化の進展による紙媒体の需要減少や競争激化による受注単価の下落が続く中、原材料の値上げなどもあり、依然として厳しい状況が続いています。

■ 業績について

当上半期の業績は、売上高88億51百万円(前年同期比10.3%増)となりました。しかしながら、損益面では、営業損失2億14百万円(前年同期は61百万円の利益)、経常損失1億94百万円(前年同期は96百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億5百万円(前年同期は1億31百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績では、印刷事業は、新村印刷株式会社を連結子会社化したことが寄与し、増収となりましたが、損益面では貢献に及ばず、減益となりました。電子部品製造事業は、市場低迷により、車載用タッチパネル製品及びエッチング精密製品の売上が大幅に減少し、減益となりました。不動産賃貸等事業は、増収増益となりました。

引き続き収益確保に努めてまいります。最近の業績の動向や経営環境を踏まえて、通期業績予想を修正いたしました。

■ 当社の取り組みについて

印刷事業では、新たに連結子会社となった新村印刷株式会社とのシナジー効果を早期に発揮させるための取り組み

を行い、包装・パッケージ分野の受注拡大を図るとともに、包装・パッケージ及び医療用添付文書の生産能力拡大を図っています。また、伸張分野である配送用ラベル伝票についても積極的に受注活動を展開するとともに、生産能力の拡大を図っています。さらに、顧客ニーズの多様化により多品種・少量生産の需要が一段と高まっている商業印刷分野においては、デジタル印刷事業を立ち上げ、新サービスの展開を図るべく活動を行っております。

電子部品製造事業では、車載用タッチパネル向けにAgメッシュ製品の拡販と安定稼働による収益の改善を図っていきます。また、エッチング精密製品については、次世代移動通信技術5Gシステムを基盤とした電子デバイスの需要増加が見込まれ、受注の確保を目指します。

なお、これまでお客様とともに歩んできた伝統を大切にしつつ、現状に留まることなく常に変化を続けていき、今後の持続的な成長に向けて、新たな分野への進出と事業領域の拡大を実現していく姿勢を明確化するため、コーポレートロゴを変更いたしました。

■今後の見通しについて

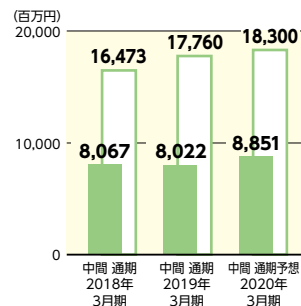
市場環境は引き続き厳しい状況が予想されますが、今後の持続的な成長に向け、包装・パッケージ分野や配送用ラベル伝票等での事業領域拡大と生産体制の見直しによるコスト構造改革を実現し、収益改善を果たしてまいります。

当社グループ会社内での連携も含め、積極的に人材交流や教育を推進し、営業面の強化や生産効率のより一層の向上に取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご期待にお応えできるように、社員全員で一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

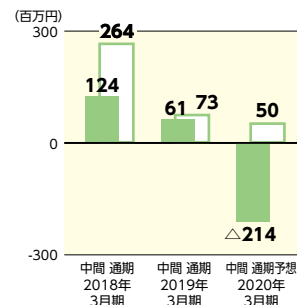
■売上高

8,851 百万円



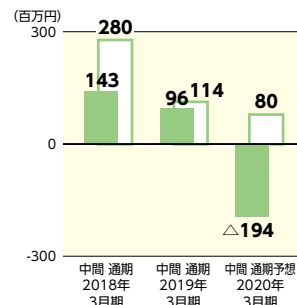
■営業利益

△214 百万円



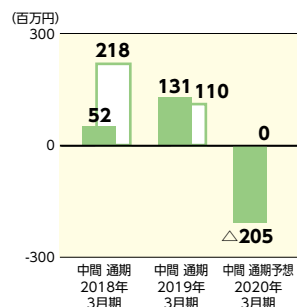
■経常利益

△194 百万円



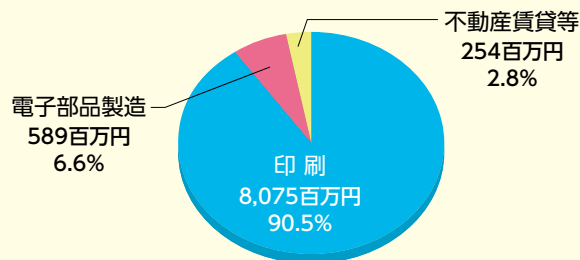
■親会社株主に 帰属する 中間純利益

△205 百万円

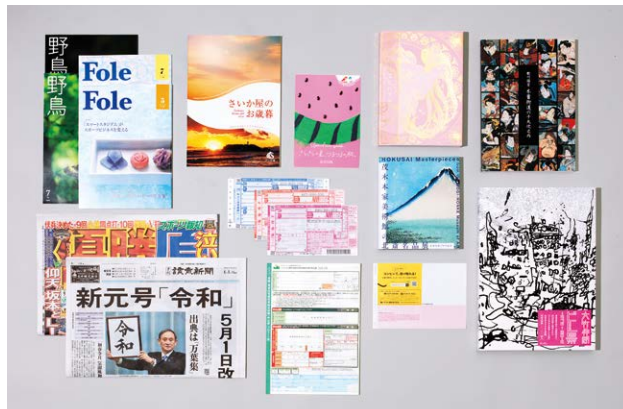


セグメント別事業報告

■売上高構成比

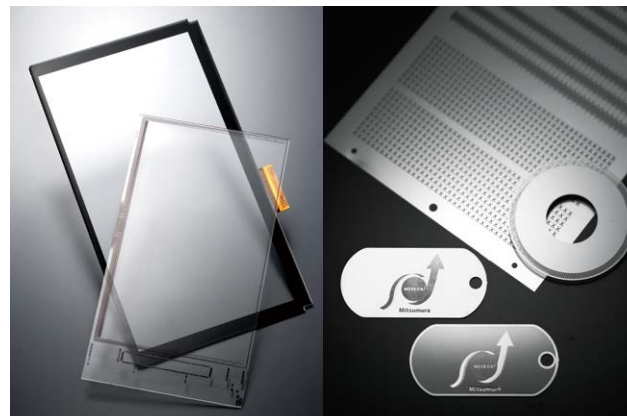


印刷



当社グループのメイン事業で、読売新聞社の朝夕刊をはじめ、宣伝用印刷物や伝票、出版物の印刷を行っています。前第3四半期連結会計期間より新村印刷株式会社を連結子会社化したことが寄与し、売上高は80億75百万円(前年同期比14.7%増)となりましたが、損益面では貢献に及ばず、営業損失1億63百万円(前年同期は77百万円の損失)となりました。

電子部品製造



当事業ではカーナビ用のタッチパネルや、エレクトロニクス製品で使用される精密な金属部品等を製造しています。当上半期は、市場低迷により、車載用タッチパネル製品及びエッチング精密製品の売上が大幅減少したことにより、売上高は5億89百万円(前年同期比26.3%減)、営業損失2億30百万円(前年同期は31百万円の損失)となりました。

不動産賃貸等

当事業では本社ビルなど一部不動産をテナントへ賃貸を行っているほか、太陽光発電事業を行っています。当上半期の売上高は2億54百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益1億80百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

■ コーポレートロゴを変更しました ■

7月1日より光村印刷のコーポレートロゴが新しくなりました。新ロゴは光村の頭文字「M」を凶案化し、左側の四角形は安定した形態と、事業の基礎となる「印刷」の確かな技術と伝統を表現。右側の円に向かって徐々に形と色調を変えることで、現状から脱却し変化していくというメッセージを込めました。「ともにづくり、ともに伝える。」という企業理念のもと、これまでお客様とともに歩んできた伝統を大切にしつつ、常に変化を続け、今後の持続的な成長に向けて新たな分野への進出と事業領域の拡大を実現していく姿勢を表現するロゴマークとなっています。



■ 株主優待カレンダーのご紹介 ■

2020年当社オリジナルカレンダーはフランスの「ルーヴル美術館」を取り上げます。1974年の来日時には当社が複製画の印刷を担当した縁のある「モナ・リザ」をはじめ、東京オリンピック開催にちなみ、勝利の女神として知られる「サモトラケのニケ」、幅広い世代に人気のフェルメールやラファエロなど魅力的な作品を揃えました。55万点以上もあると言われるコレクションから逸品を選びすぐりましたカレンダーをお楽しみください。

カレンダーは、9月30日現在1単元株以上ご所有の株主様に12月中旬にお届けします。

会社概要

(2019年9月30日現在)

商号 光村印刷株式会社
創業 1901年10月20日
設立 1936年12月21日
資本金 56億788万円
従業員 単体558名、連結857名

事業所



本社

本社
〒141-8567
東京都品川区大崎一丁目15番9号
電話：03-3492-1181 (代表)

大阪支店
〒541-0042
大阪市中央区今橋二丁目2番17号
今川ビルディング3階
電話：06-6229-5120



川越工場

川越工場
〒350-1165
埼玉県川越市南台一丁目1番地1
電話：049-242-4025



草加工場

草加工場
〒340-0013
埼玉県草加市松江五丁目2番31号
電話：048-935-1201



那須工場

那須工場
〒324-0036
栃木県大田原市下石上1378番7
電話：0287-29-2610

役員

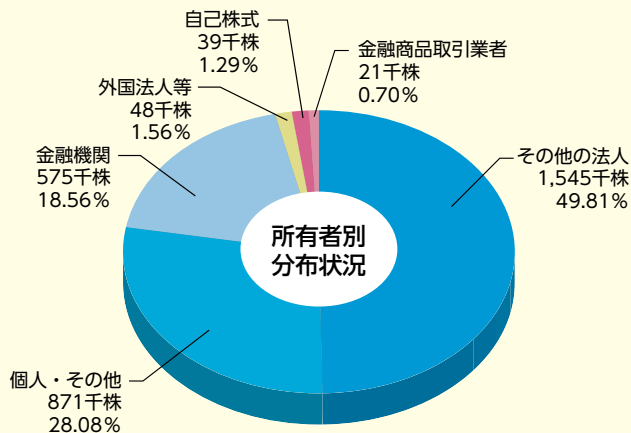
代表取締役社長 (社長執行役員)	阿部 茂雄
取締役 (専務執行役員)	嶋山 芳夫
取締役 (常務執行役員)	北條 文雄
取締役 (上席執行役員)	谷川 隆治
社外取締役	柴崎 憲二
社外取締役	榎本 雅彦
常勤監査役	吉崎 久
常勤監査役	齋藤 淳一
社外監査役	齋藤 剛
社外監査役	田口 量久
上席執行役員	辻 明成
上席執行役員	石川 浩之
上席執行役員	池田 昌隆
執行役員	伊東 康博
執行役員	浅利 裕一
執行役員	北川 日出男
執行役員	渋谷 祐介
執行役員	御地合 英伸

(注) 当社は、社外取締役柴崎憲二、榎本雅彦及び社外監査役齋藤剛の各氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定しております。

関係会社

新村印刷株式会社
株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

発行可能株式総数 9,947,800 株
 発行済株式の総数 3,103,420 株
 単元株式数 100 株
 株主数 2,589 名



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	511	16.71
DIC株式会社	457	14.92
株式会社読売新聞グループ本社	224	7.33
株式会社三菱UFJ銀行	112	3.68
株式会社SCREENホールディングス	100	3.26
株式会社十六銀行	66	2.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	66	2.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	51	1.68
三菱UFJリース株式会社	48	1.59
光村印刷従業員持株会	46	1.50

(注) 1. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものです。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」です。)

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金配当の基準日 3月31日及び中間配当の
 支払を行うときは9月30日

定時株主総会の基準日 3月31日

定時株主総会の開催 毎年6月

公告の方法 電子公告

(<https://www.mitsumura.co.jp/>)

ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711(通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話 0120-782-031(通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



光村印刷株式会社 (東証一部: 7916)

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目15番9号

〈ホームページ〉

<https://www.mitsumura.co.jp/>

右記のQRコードからもご覧いただけます。

